

土人云、愛宕山一鳥居傍、有稱福田寺、其堂後有古石塔、此塔後龜山院御廟也。

〔太平記三十九〕光嚴院禪定法皇行脚御事

丹波國山國ト云所へ、迹ヲ銷シテ移セ給ケル。○中翌年三年○貞治ノ夏頃ヨリ俄ニ御不豫ノ事有テ、

遂ニ七月七日ニ隠サセ給ニケリ、

〔太平記三十九〕法皇御葬禮事

此時ノ新院光明院殿モ、山門ノ貫首梶井宮モ、共ニ皆禪僧ニ成セ給ヒテ、伏見殿ニ御坐有ケレバ、急ギ彼ノ遷化。○光ノ山陰へ御下リ有テ、御茶毘ノ事ドモ取營マセ給ヒテ、後ノ山ニ葬シ奉ル、

〔尾張本神皇系圖〕光明院、康暦二年六月廿四日、崩於大和國長谷寺、御骨奉入伏見大光明寺、

〔迎陽記〕應永五年正月廿三日辛未、傳聞今日伏見法皇○崇御葬禮也。○中於大光明寺有其儀、

〔外記中原師夏記〕應安七年三月廿二日、故院光嚴○後御遺骨自泉涌寺被渡嵯峨金剛院、彼長老參泉涌寺奉迎取云云、此外御拾骨之時、奉渡深草殿、藤中納言忠光卿奉懸頸被奉入云云、又奉入安樂光院之由承及者也、廿六日、舊院御遺骨被奉納所々、深草法華堂 天龍寺 金剛院 天王寺 難波浦高野山 泉涌寺 安樂光院

〔後光嚴院崩御記〕應安七年正月廿九日、寅刻御年卅七ニテ終ニ崩御ナリ、後光嚴院トゾ尊號ハ申セル。○中二月二日、東山泉涌寺へ御葬禮、○中同三日、御骨ヲ當寺ノ僧ノ沙汰ニテ拾タマツル、

藤中納言頸ニカケテ、深草ノ法華堂ニヲサメテ、泣々京ヘゾ歸給ケル、

〔常樂記〕明德四年四月廿六日、後圓融院於小河仙洞薨御、廿六於泉涌寺廿七日茶毘、左大臣殿以下

公卿殿上人供奉、

〔皇年代略記後圓融〕明德四年四月廿六日辛丑崩、同廿七日奉葬泉涌寺、奉納御骨於深草

〔後小松院御葬禮記〕子刻許入御泉涌寺、○中此後御茶毘、○中日野新中納言由緒入仙骨於御手匣